

【別紙】 令和3年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立東中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	○よく考える生徒○心豊かな生徒○心身ともに逞しい生徒○勤労・奉仕の心をもつ生徒
目指す学校像	(1) 夢と希望を育む地域に信頼される学校 (2) 明るい生徒と正しい言葉遣いの行き交う学校 (3) 清掃の行き届いたきれいな学校 (3) いじめのない、不登校生徒のいない学校 (5) 学校行事や部活動による活動を大切にする学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	名
事務局 (教職員)	名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 年 月 日 現 在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・落ち着いた環境の中で、授業をはじめとする様々な教育活動が展開されている。しかし、今年度半数以上の教職員の異動があり、今後も教育の質を下げることなく向上させていくことが課題である。	○落ち着きと潤いのある学校として市内に誇れる学校をつくる。 □授業がわかりやすいと思える生徒の割合90%以上を実現する。	○小さな変化を見逃さず、早期対応で教育活動を行う。 □1・2学期に、アンケートを実施し、各教科で生徒の視点から授業改善を図る。		
教育課程	・GIGAスクール構想により、生徒と教員に一人1台、タブレットが配布され、授業へ実践できるよう研究を進めている。また、基礎基本の確実な定着を図り、不登校生徒を減少させることが課題である。	○「学ぶ意欲を向上させる授業づくり」～タブレット端末使用の効果検証～を実現する。 □家庭と連携を大切にし、心の悩みにも十分対応できる体制を構築する。	○授業の活用方法について情報交換を行い、計画的に研修を実施し、タブレット使用の効果検証を図る。 □教育相談員、SCと連携を図り、生徒保護者に寄り添った指導を行う。		
開かれた学校づくり	・ホームページに加え保護者緊急メーの活用にも積極的に力を入れている。また、小中学校の連携強化を図り、地区全体として子どもを育てる意識を進めている。	○非常時でも十分に対応できる携帯方法を充実させ、迅速な情報提供を行う。 □新郷地区の中学校として、リーダーシップの発揮できる学校にする。	○ホームページ担当を各学年に置き、学校として、1日1回更新する。 □小中連携を一層深め、学区内小学校と同一歩調で教育活動が進められるよう調整する。		
教職員の資質向上	・教科ごとに学習指導案の検討を行い研究授業に結びつけることによって、指導法の共有を行っている。また、教育公務員としての資質向上は、恒常的な心構え捉えている。	○教育のプロとして専門性を高め、特に教科指導力を向上させる。 □保護者や地域から信頼される教職員集団を形成する。	○教科部会のなかで研究を深め、互いに授業の内容の情報交換や相互参観を行う。 □校内研修を通して、教育公務員としての意識を高める。		
施設・設備等の管理	・定期安全点検を通して指摘された箇所の改善を早期に進めている。また、長期にわたる老化に伴う補習箇所は、教育委員会と連携を図りながら実施している。	○生徒が安全・安心に活動できる教育環境を整える。 □災害時における避難所としての機能が十分発揮できる施設にする。	○定期安全点検を月に1度行い、危険箇所や破損箇所を早期に対応する。 □体育館の空調も入ったことから、災害時における避難所として十分機能するよう計画の見直しを行う。		

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	